



Bank of Yokohama

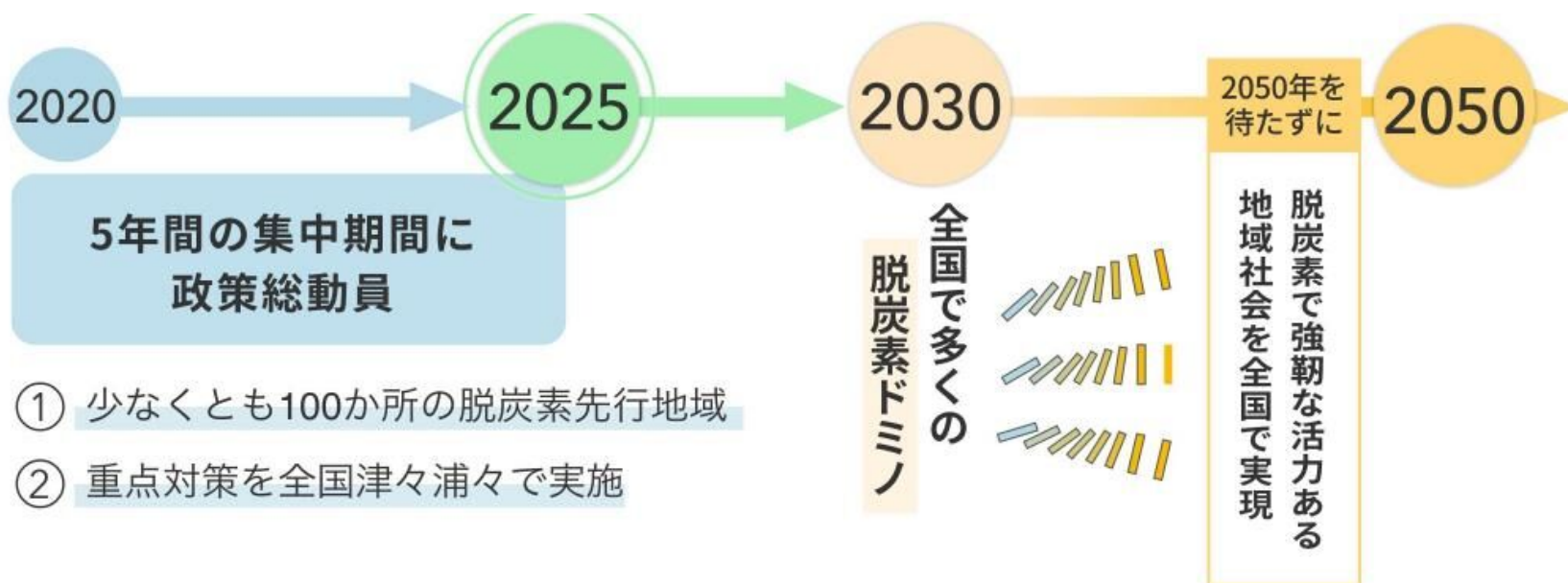
かながわSDGsパートナーミーティング  
地域脱炭素プラットフォームについて

2023年7月11日

横浜銀行

# 地域脱炭素

- 地域脱炭素は、地方創生に貢献
- 2025年までに、全国で100か所の脱炭素先行地域を選定する計画
- 先行地域には、補助金が交付(補助率2/3)



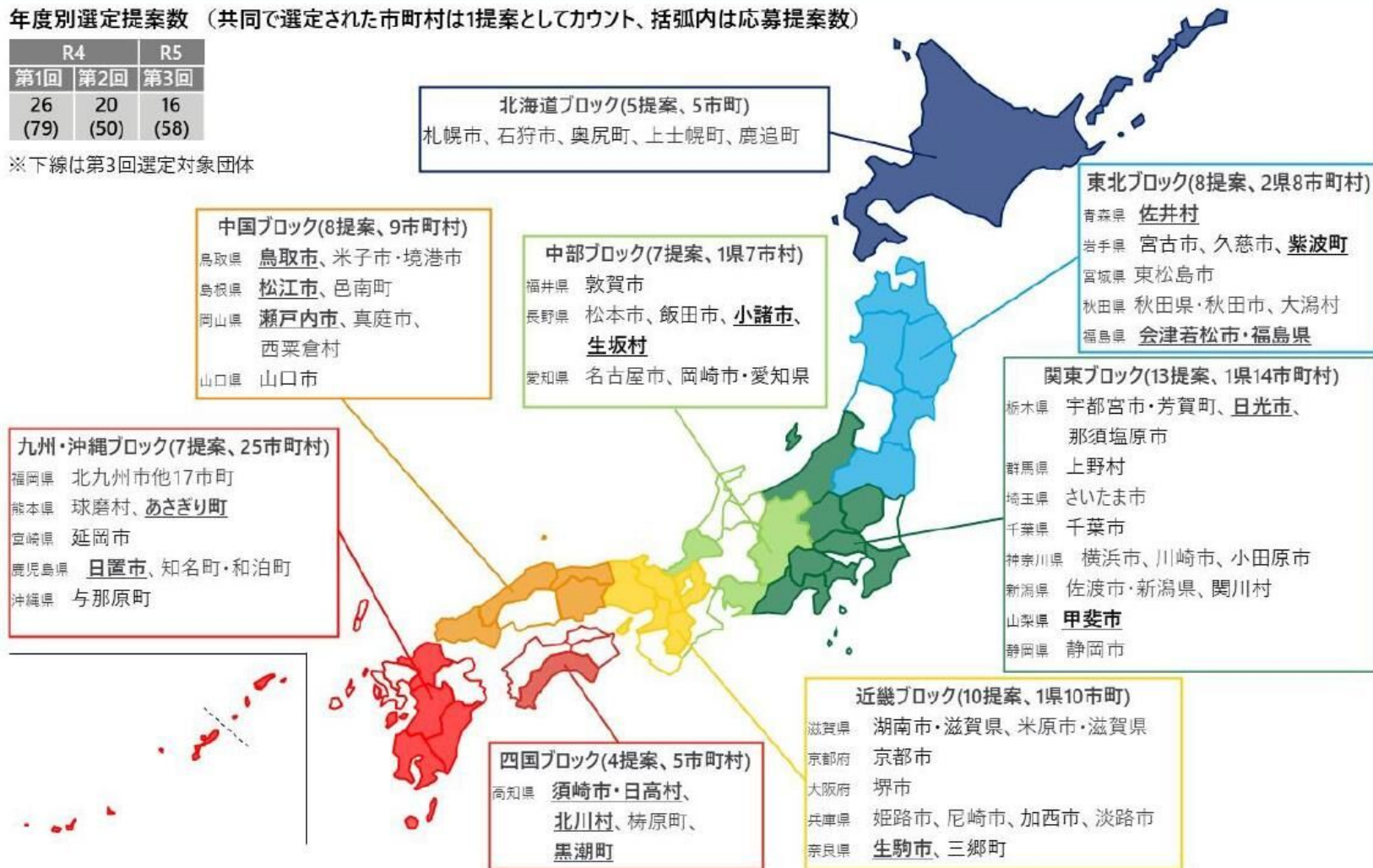
# 脱炭素先行地域の選定状況（第1回～第3回）

■ 第3回までに、全国32道府県83市町村の**62提案**が選定された。

年度別選定提案数（共同で選定された市町村は1提案としてカウント、括弧内は応募提案数）

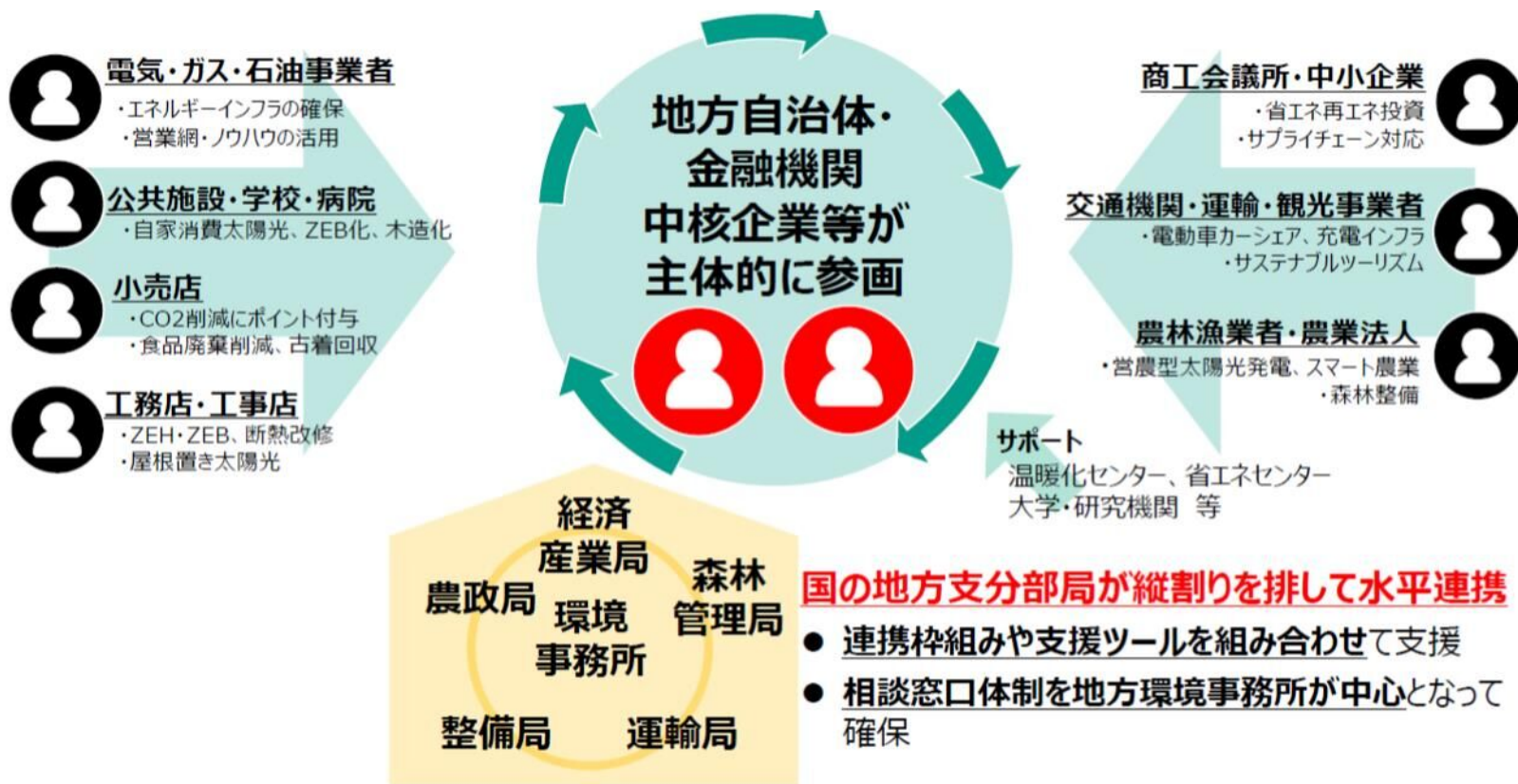
R4		R5
第1回	第2回	第3回
26 (79)	20 (50)	16 (58)

※下線は第3回選定対象団体



# 地域金融機関の役割

- 地方自治体・中核企業とともに、主体的に参画し、地域脱炭素に取り組むことが求められている



# 自治体が抱える課題

---

① 自治体・企業との情報交換の場が少ない

# 自治体が抱える課題

① 自治体・企業との情報交換の場が少ない

② 企業や市民の認知度が上がらない

# 自治体が抱える課題

① 自治体・企業との情報交換の場が少ない

② 企業や市民の認知度が上がらない

③ 脱炭素の政策立案が難しい

# 地域脱炭素プラットフォーム

- 神奈川県を含む31自治体が参加
- 自治体参加者は実務担当者が中心





# 地域脱炭素プラットフォーム

- プラットフォームは「調査研究」「案件組成」が2つの柱

## 【調査研究】

- 最新事例、技術、製品・サービスの情報収集
- 産官学民の枠を超えたネットワーク構築

1. 脱炭素ショートピッチ

2. 政策・事例研究

## 【案件組成】

- 脱炭素関連施策の具体化、実証事業
- 複数自治体による広域連携の推進

3. ツール提供

4. 分科会

## 体制

- 主催: 横浜銀行
- 協力: 横浜国立大学、NTTデータ経営研究所
- 事務局: 横浜銀行、浜銀総合研究所
- 主な参加者: 県内自治体の脱炭素実務担当者、企業・大学研究機関・非営利団体

狙い  
コンテンツ

# 1周年記念イベント

- 2023年5月23日、横浜市役所アトリウムにて1周年記念イベントを実施
- 官民連携によるEVカーシェア、環境教育プロジェクトについて発表。各種メディアにて報道された結果、行内外から大きな反響



## 1. 環境教育プロジェクト(写真左下)

- 家庭からの廃食用油を活用して精製する持続可能な航空燃料をテーマに探求型学習プログラムを実施
- 横浜銀行、西前小学校、SAFFAIRE SKYENERGY、レボ・インターナショナル、横浜青年会議所が連携して実施

## 2. EVカーシェアプロジェクト(写真右上)

- 平日は行用車(公用車)として活用し、土休日は地域住民に開放するEVカーシェアを実施
- 横浜銀行、伊勢原市、ENEOS、浜銀ファイナンスが連携して実施

Afresh あなたに、あたらしく。



Bank of Yokohama